

メタルキャタライザーキット

取付説明書



Pursuing the Ultimate in Engine Performance and Efficiency.
HKS Company Limited.

取付けは必ず専門業者に依頼してください。

取扱説明書を先に読んでから作業を行ってください。

本書はご使用前に必ずお読みください。

本書は、お読みになった後も本製品の側に置いて活用してください。

本製品は、下記に示す車両のみ取付け可能です。

万が一お車と本製品の型式等が異なる場合には、速やかにお買い上げの販売店にご連絡ください。

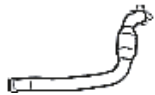
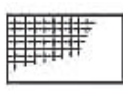
商 品 名	車種別メタルキャタライザーキット		
用 途	自動車専用部品		
コ ー ド No.	33005-AF005 / 33005-AF006		
取付説明書 品 番	E65462-F42015-00 Ver. 3-3. 06		
整備要領書 品 番	G1621A		
メ ー カ ー 車 種	スバル レガシィ TA—BP5/BL5		
エ ン ジ ン 型 式	EJ20		
年 式	A/T	年改 A～C	2003 年 5 月～ 2006 年 4 月
	M/T	年改 A～C	2003 年 5 月～ 2006 年 4 月
備 考			

改訂の記録

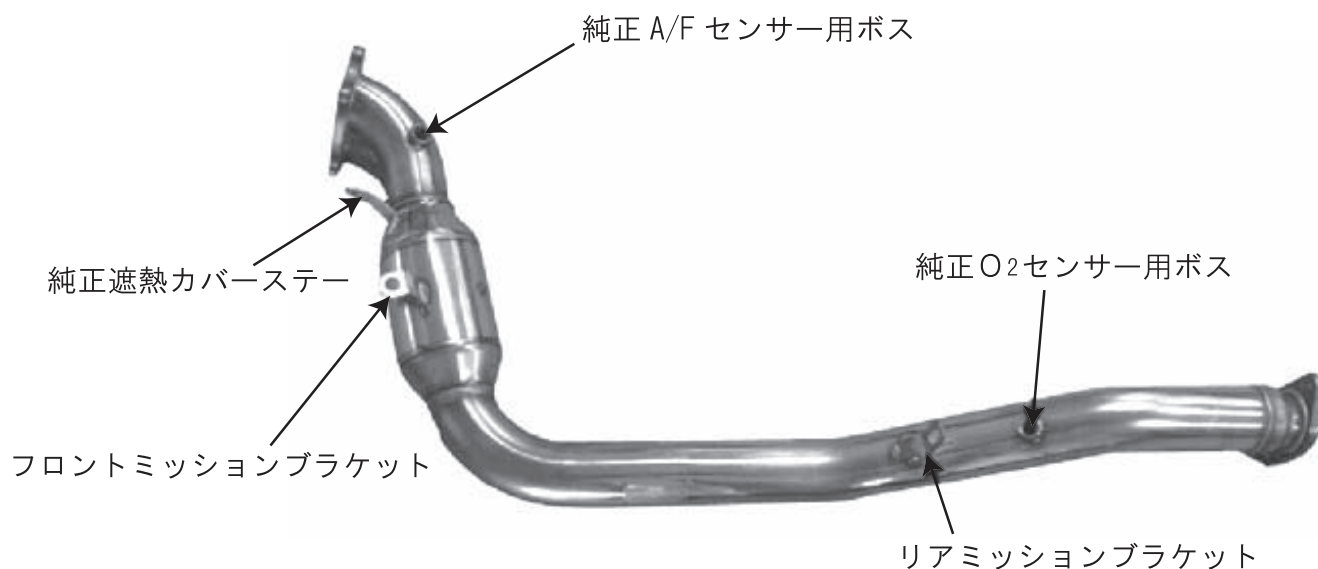
改 訂 No.	日 付	
3-3. 01	2005/06	初版
3-3. 02	2006/06	適合車両変更・パーツリスト変更
3-3. 03	2006/08	パーツリスト変更
3-3. 04	2006/09	適合車両変更
3-3. 05	2006/11	パーツリスト変更
3-3. 06	2008/01	記載事項変更

HKS METAL CATALYZER

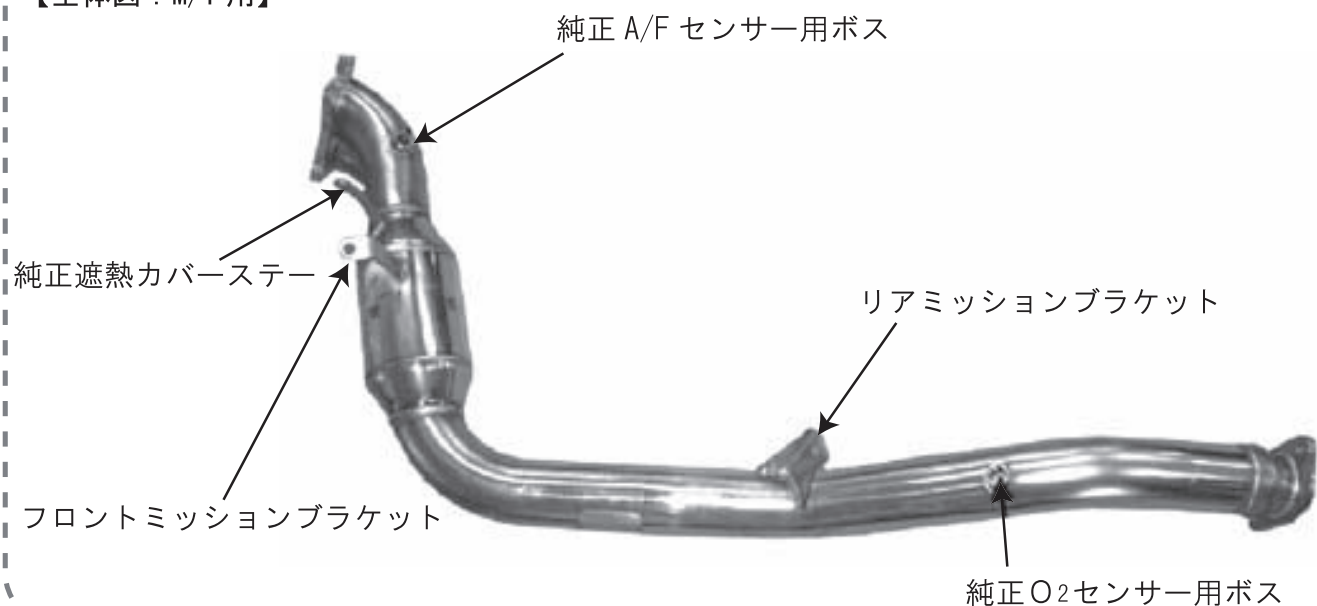
パーツリスト

連番	品名	数量	形状	備考
1	触媒	1		A/T用
1	触媒	1		M/T用
2	ターボチャージャガスケット	1		純正品番 44011AG030
3	遮熱板	1		
4	球面ガスケット	1		HKSオリジナル
5	ホースバンド	2		#72
6	遮熱シール	1		
7	タイラップ	2		
8	プレーンワッシャ M12	1		
9	取扱説明書	1		
10	取付説明書	1		
11	試験成績表 (33005-AF005にのみ添付)	1		BP5 A/T用
12	試験成績表 (33005-AF005にのみ添付)	1		BL5 A/T用
13	試験成績表 (33005-AF006にのみ添付)	1		BP5 M/T用
14	試験成績表 (33005-AF006にのみ添付)	1		BL5 M/T用

【全体図：A/T 用】



【全体図：M/T 用】



※ パーツリスト内の部品を別途購入する際は、補修パーツとして設定してある為、H K S 受注センターにお問い合わせください。

受注センター TEL 0544-29-1234
FAX 0544-29-1151

HKS METAL CATALYZER

A/F・O₂センサーの取外し・取付けについて



重要

- 「本製品の取付後にエンジンチェックランプ「A/F・O₂センサー異常」が点灯する場合は、A/F・O₂センサーまたはセンサーハーネスの破損、接触不良などが起きている恐れがあります。
A/F・O₂センサーおよびセンサーハーネスを点検し、破損している場合は修理・交換をしてください。

☐ センサー不具合発生理由

- ・ センサー断線
- ・ センサーコネクタ接触不良
- ・ センサーヒーター部異常
- ・ 車両側ハーネス断線及び接触不良



重要

- 「A/F・O₂センサーを脱着する際にセンサおよびセンサーハーネスを破損させないように必ず下記の事項を守り作業をおこなってください。

- ・ センサーコネクタを取外してからセンサーを取外す。
センサーコネクタを付けたままセンサーを外すとハーネスがねじれて断線することがあります。
- ・ 取外したセンサー部に油分・汚れを付着させない。
油分や汚れが付着したまま使用するとセンサーが機能しない場合があります。
- ・ センサー異常によりセンサーの交換をおこなった場合は、コンピュータ（ECU）をリセットしてください。
センサーを交換しただけでは、ECUにエラー記録が残っていて、「エラー表示」される場合があります。

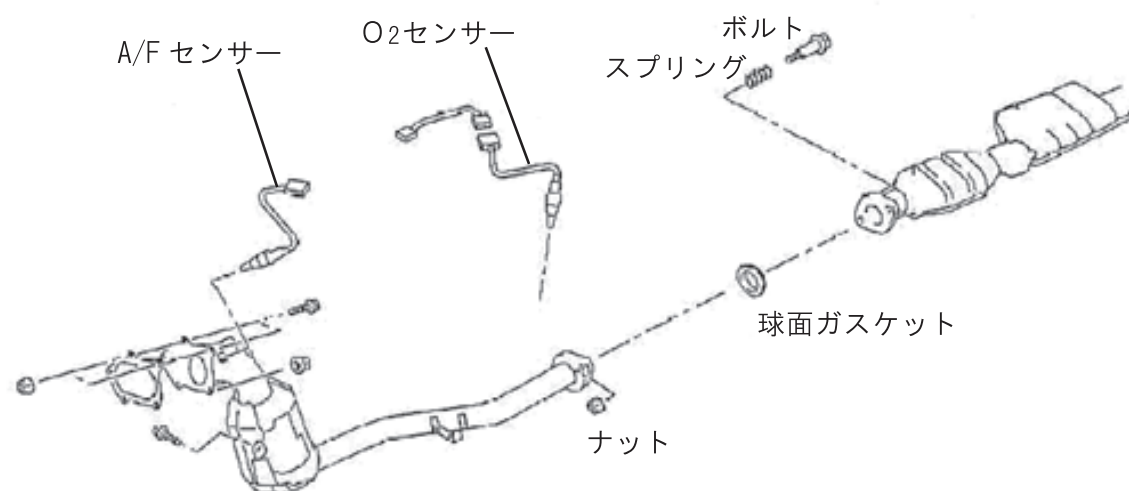
1. ノーマルパーツ取外し

作業を始める前にバッテリーのマイナス端子を取外し、必ず整備要領書及び取扱説明書に準じて作業を行ってください。

(1) ターボチャージャー周りの遮熱板・A/Fセンサー・O₂センサーを取外し、触媒を取外してください。【図1】

アドバイス

- センサーの取外しは、センサーハーネスを損傷しないようカプラーから外してください。
- 取外した触媒、球面ガスケットは再使用しませんので保管してください。
ボルト・ナット・スプリングは再使用します。
- ターボチャージャー出口のガスケットはキット内の新品を使用してください。

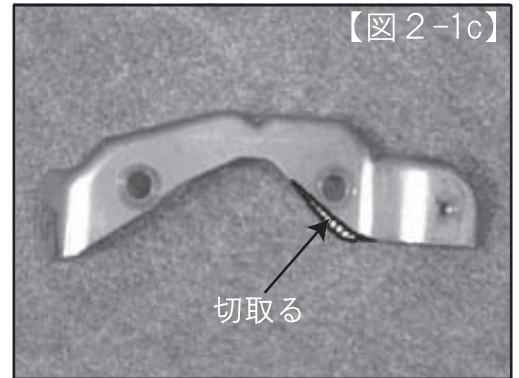
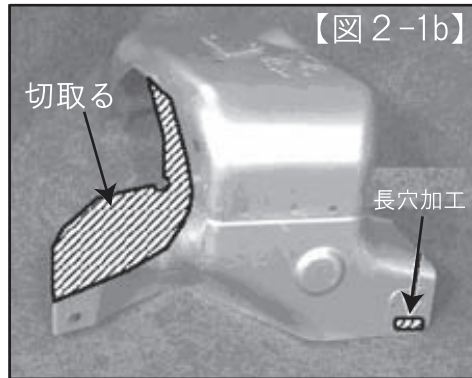
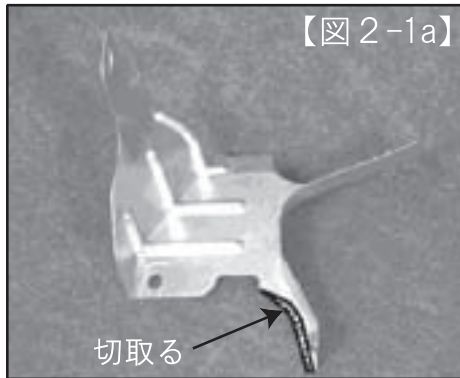


【図1】

HKS METAL CATALYZER

2. 遮熱板の加工

- (1) ロアカバー・サイドカバーを干渉しないように図の部分をカットしてください。
(図2-1a, 図2-1b, 図2-1c)



重要

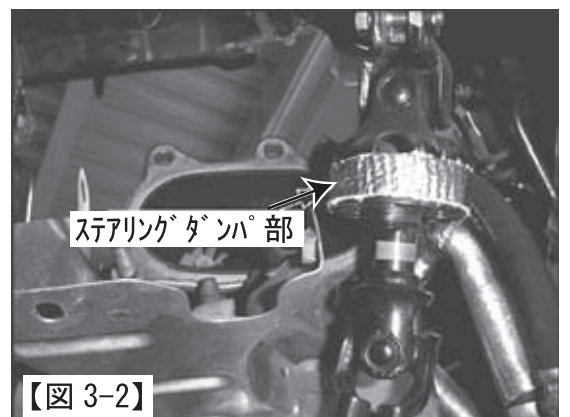
- ロアカバー・サイドカバーは使用中に経年変化によって割れる恐れがあります。走行前の点検を推奨します。
- 破損が見受けられた場合は交換してください。

3. ステアリング ダンパ部の遮熱処理

- (1) 遮熱シールを190mm×15mmに切取り、図のようにステアリング ダンパ部に貼付けてください。
(図3-1, 図3-2) (P6×1)

アドバイス

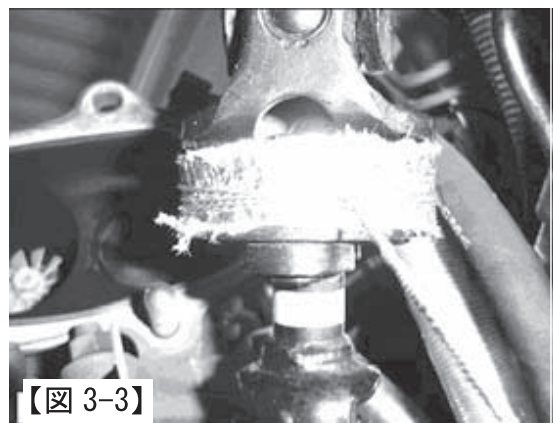
- サーモシールはダンパ部に合わせて干渉しないように調整を行ない、確実に遮熱してください。



- (2) (1)で貼付けた遮熱シールが剥がれないように、ワイヤなどを使用して、図のように固定してください。(図3-3)

アドバイス

- 複数本のワイヤをねじりあわせてから遮熱シールを巻付けるようにすると、固定されやすくなります。

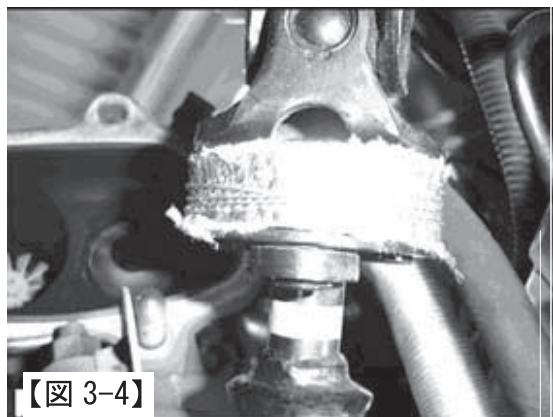


【図 3-3】



- 遮熱シールが剥がれないように確実に固定してください。確実に固定されず遮熱シールが剥がれた場合ダンパ部破損の原因となります。

- (3) 遮熱シールを固定したワイヤの切口は、図3-4を参考にして切口が外に向かないよう内側に折り曲げてください。(図3-4)



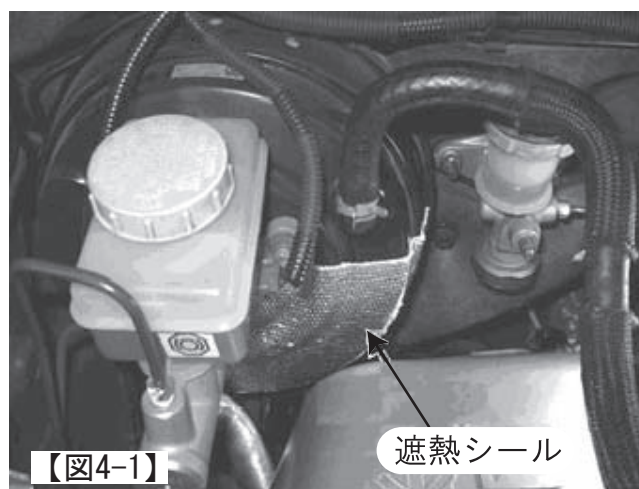
【図 3-4】



- ワイヤの切口は確実に処理を行なってください。確実に処理が行なわれず、ワイヤにほつれ等が生じた場合、ステアリング操作の不具合発生の原因となります。

4. 遮熱シールの取付け

- (1) 取付説明書に付属されている遮熱シールカット型紙を使用して、遮熱シールをカットしてください。
- (2) カットした遮熱シールをマスターバック下側に貼付けてください。その際、十分に脱脂をし剥がれないようにしてください。(図4-1) (P6×1)



【図4-1】

遮熱シール



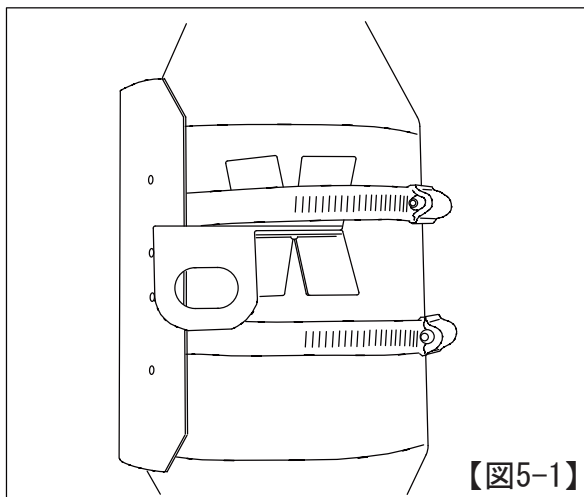
- 遮熱シールは経年変化により剥がれる恐れがあります。走行前の点検やメンテナンスを推奨します。

5. 触媒の取付け

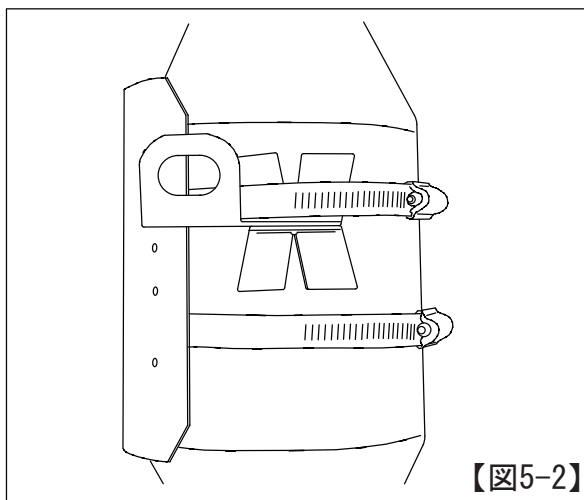
(1) ホースバンドを使用して、触媒に遮熱板を取付けてください。

(A/T用：図5-1, M/T用：図5-2) (P3×1, P5×2)

遮熱板取付け位置 (A/T 用)



遮熱板取付け位置 (M/T 用)



(2) 純正のボルト, ナット, スプリングとキット内の球面ガスケット, ターボチャージャガスケットを使用して、触媒を純正触媒のあった場所へ仮組みをしてください。(P1×1, P2×1, P4×1, P8×1)

アドバイス

- 触媒を仮組みする際、ブラケットも仮組みしてください。
- フロントミッションブラケットと純正ボルトの間にプレーンワッシャM12を入れてください。(P8×1)

(3) マフラーの車体各部とのクリアランス及び干渉しないことを確認し、触媒を本締めしてください。

締付トルク N・m(kgf・m)

ターボチャージャー出口フランジ	T=35±15	(3.5±1.5)
ミッションブラケット フロント	T=35±15	(3.5±0.5)
ミッションブラケット リヤ	T=30±5	(3.0±0.5)
マフラー部	T=18±5	(1.8±0.5)

6. センサーの取付け

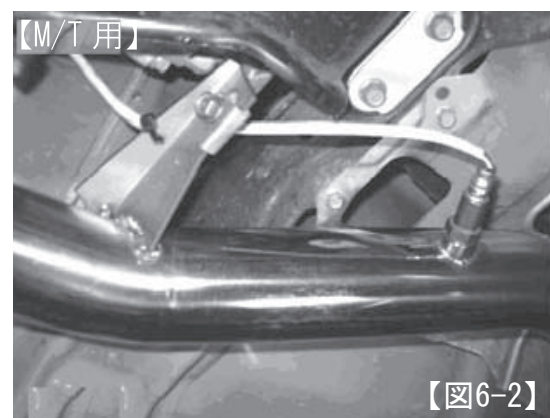
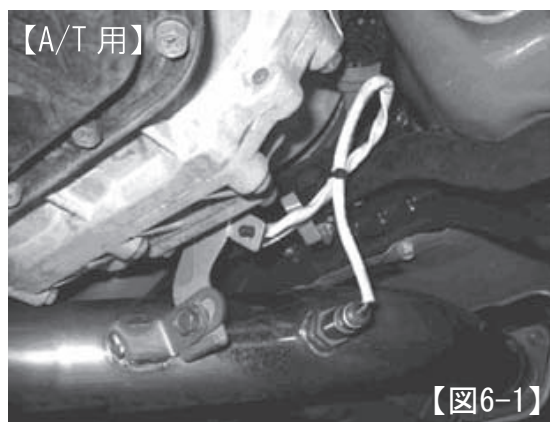
(1) 純正A/Fセンサーと純正O₂センサーを取付けてください。

締付けトルク N・m (kgf・m)

T=21±3 (2.1±0.3)

(2) タイラップを使用して、センサーハーネスの干渉や引っ張り、たるみが無いように固定してください。

(A/T用：図6-1, M/T用：図6-2, 図6-3) (P7×1)



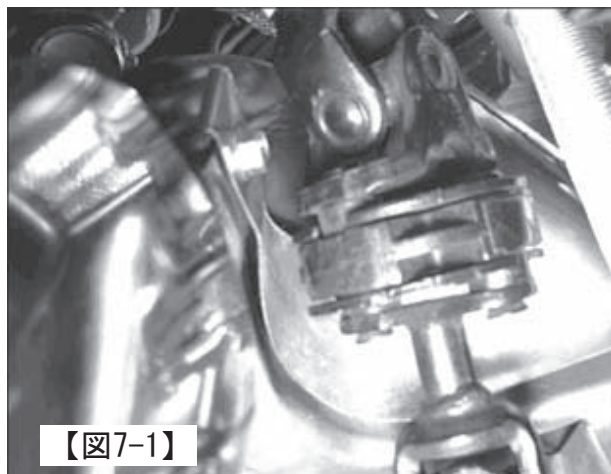
HKS METAL CATALYZER

7. 純正遮熱板の取付け

(1) 取外した純正遮熱板を取付けてください。

締付けトルク N・m (kgf・m) T=6.5±0.5 (0.65±0.05)

(2) ステアリングシャフトと本製品に干渉のないことを確認し、純正遮熱カバーを利用してステアリングシャフト部、ブッシュを遮熱してください。



8. 取付け状態の確認

- (1) バッテリーのマイナス端子を取付けてください。
- (2) 取付け作業終了後、各部に干渉が無いことを確認してください。
- (3) エンジンを始動し、約2500回転で回して排気漏れや異常音を点検してください。
- (4) 試運転により、再度排気漏れや異常音を点検してください。

※取付作業終了後、必ず取扱説明書の「取付後の確認」に従って確認作業を行なってください。

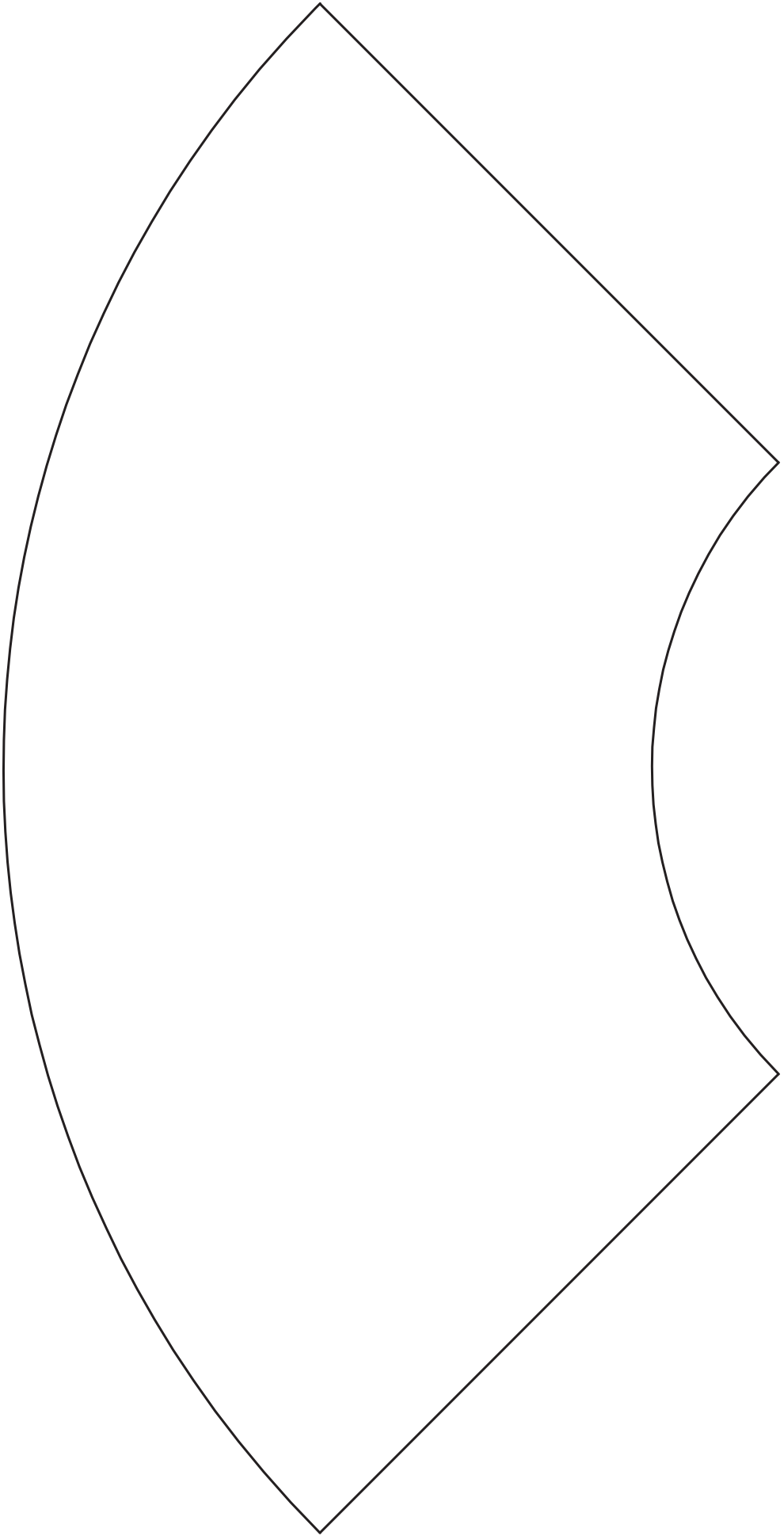
9. 取付け後の確認

- (1) 本製品を装着すると過給圧特性の変化が考えられます。弊社販売のマフラーとの併用であれば問題ありませんが、エアクリーナーや他社製品との併用、及び過給圧コントロール装着により過給圧を変更している場合はノッキングの有無や、最大過給圧の確認を行なってください。必要であれば、再セッティングを行なってください。

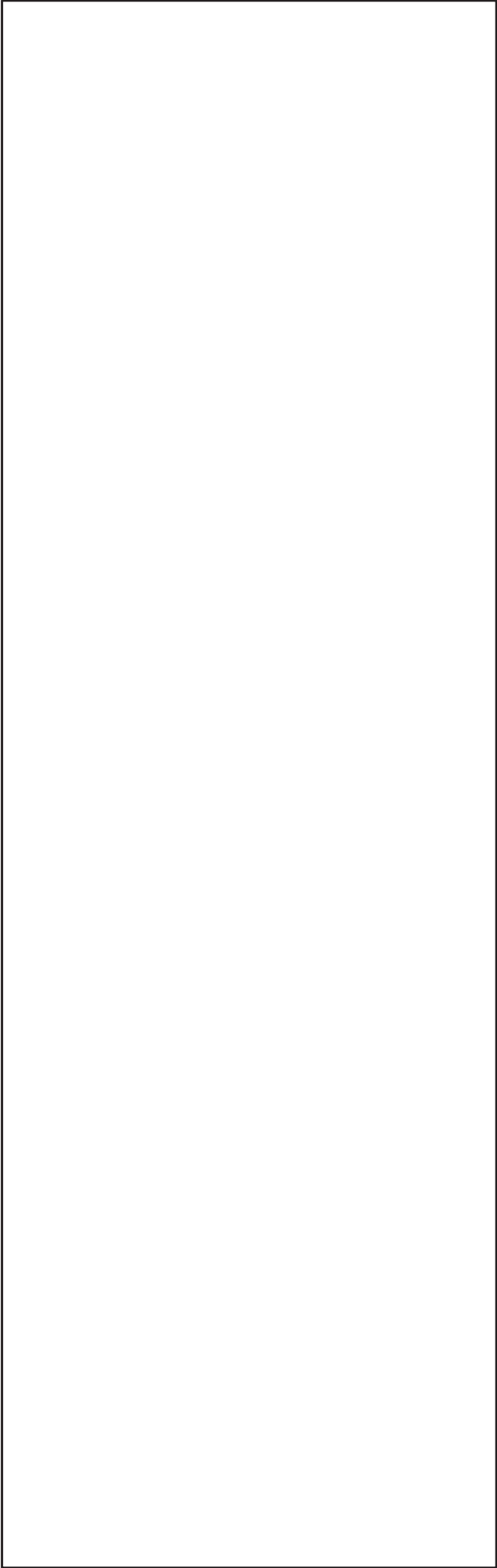


注意

- 車両による個体差や、併用する部品により性能変化には差が生じます。同様にノッキング等の発生も一様ではない為、製品装着時には充分注意し問題が確認された場合は、セッティング状態と併用部品を検討してください。



HKS METAL CATALYZER



HKS METAL CATALYZER

HKS METAL CATALYZER



株式会社 エッチ・ケー・エス

〒418-0192

静岡県 富士宮市 北山 7181

<http://www.hks-power.co.jp/>